

---

育友会通信(vol. 1 1)

育友会会員のみなさま

平素は育友会活動において保護者の皆様、先生方の温かいご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い日常生活が一変し、制約される日々をお送りのことと存じます。

育友会活動につきましては、この感染症の影響を受け令和二年度の育友会評議員会開催は断念せざるを得ず、大変残念に思っております。このような状況が一日でも早く収束し、笑顔で皆様方とお目にかかれる平穏な日常が戻りますことを強く願うばかりです。今後の育友会活動はこの感染症対策について国及び自治体の指示を念頭に学校のご指導を得て、役員会で協議検討し行動する必要があります。

この様な事態であるからこそ、私たちは「生徒ファースト」をモットーに育友会評議員が中心となり、柔軟且つポジティブに臨機応変に取り組み、今後に繋がる無理のない活動を提案し改善していければ幸いと考えております。

今年、卒業される高校三年生の保護者の皆様におかれましては、高校生活最後のメインイベントである「学年懇親会」を中止致しましたことを心よりお詫び申し上げます。これを受け、野津先生に相談いたしましたところ、昨年12月に急逝されました安達教頭先生がお力添え下さり、卒業生の皆さん・学年団の諸先生方に〈73回生卒業記念品(ゴーフル缶)〉を贈呈することが叶いました。この記念品は「コロナ禍で高校生活最後の思い出づくりに影響が及んだ"高校三年生の皆さんのために何かしてあげたい"という、先生方のお取り計らいにより、藤森校長先生のご快諾下さり実現いたしました。先生方からの真心のこもった贈り物である小さなお菓子の缶は、何かしら一筋の光の道しるべの様に感じ、心より感謝申し上げます。

「誰かが誰かを思いやることで奇跡は起こる」この言葉を胸に刻み、燦然と輝く未来へと希望を繋げてまいりましょう。

最後に、想像を絶する困難な一年を乗り越えられましたのは、ひとえに皆様がお力を添えて下さいましたお陰と心より深く感謝し、お礼のご挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

育友会会長 寺崎 理子